

## 市民と市長との対話集会を開催

昨年12月に、農業者団体や学生、インバウンドに取り組む人たちと市長との市政に関する対話集会を開催しました。

上越地域の若手農業者で組織される「上越地域農業後継者グループひかり」のメンバーからは、「農作物の栽培技術を確立するため、長期的な支援を行ってほしい」「農産物をもっとPRし、販売を促進していただきたい」との意見がありました。市長は「皆さんの頑張りが地域の農業振興や若者が農業に携わっていくことにつながる」と激励しました。

県立看護大学の学生からは、「路線バスと高速バスとの接続を改善してほしい」など公共交通に関する要



上越地域農業後継者グループひかり



県立看護大学



インバウンドに取り組む人たち

望があり、市長は「利便性向上に向けて関係機関に働きかけた」と答えました。また、「もっと観光PRをすべき」との意見には「一人一人がまちの良いところをPRしていくことも大切だ」と答えました。

飲食店で外国人向けのメニューの作成などを行う事業者や民泊を営む人など、インバウンドに取り組む人たちからは、「外国人への情報発信が不足している」「外国人を一元的に支援する窓口が必要」など、観光面と生活面それぞれの対応に関する意見がありました。市長は、「外国人を受け入れるために備え、コミュニケーションをとって関わっていくことが必要」と話しました。

## 新年祝賀会を開催

1月6日、新春を寿ぎ、上越市のさらなる発展を祈る新年祝賀会がリジョンプラザ上越で開催されました。

年頭にあたり村山市長は「すこやかなまちであり続けられるために、市民の皆さまとともにまちづくりを進め、20年後、30年後に、「あの時代があつたおかげで今がある」と言われるよう精一杯努めていく」と決意を述べました。



保倉川太鼓(浦川原区)の演奏による幕開け



年頭の辞を述べる村山市長



2300人が参加して行われた賀詞交換

## 体操推進「地域おこし協力隊」に委嘱状を交付

1月8日、市が地域おこし協力隊業務を委託した、一般社団法人レインボージムナスティック大潟の女子体操競技指導者に採用された青山人土さん(兵庫県川西市出身)に、村山市長が委嘱状を交付しました。

今後は、大潟体操アリーナと上越体操場「ジムリーナ」を活動拠点とし、体操の競技力向上や市民の健康増進に関する活動を行っていきます。

青山さんは上越の体操に取り組む子どもたちについて、「前向きに熱心に頑張る、真っ直ぐな子が多い」と

印象を語り、「来年度はインターハイ入賞、将来的にはオリンピック出場を目指して選手を育てたい」と抱負を述べました。

村山市長は「地元の人と一緒に頑張って、人脈や技能を発揮し、地域に根付く活躍をしてほしい」と激励しました。



村山市長と握手を交わす青山さん(写真左)